

人 チーム 制度



仕事と趣味の両立を入社時から 30 年実践

(株) 修成建設コンサルタント 技術 1 部 高萩 浩史さん

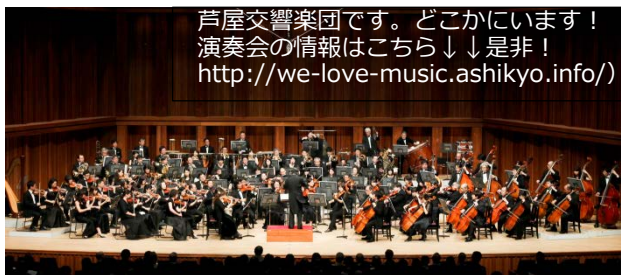
今回ご紹介するのは、(株) 修成建設コンサルタント大阪本社で勤続 30 年を迎え、現在は中部地方の商圏拡大のため名古屋事務所に籍を置かれている高萩浩史さんです。建設コンサルタントの技術者として長年勤める秘訣や仕事と趣味の両立方法について伺いました。

これまでの経歴を簡単に教えてください。

1987 年に入社し、翌年には日本道路公団に出向して山陽自動車道の建設に携わりました。出向が解けたあとは、道路・砂防・下水・港湾埋立免許等様々な仕事のお手伝いで見識を広め、それからほぼ 25 年間は交通事故対策、生活環境・自然環境の環境調査や影響評価、交通関連調査や設計・計画、公園や都市計画関連業務など、自分にできそうな仕事は何でもやってきました。昨年 7 月より名古屋事務所勤務となり、主に中部地方で受注した仕事をしています。

継続している趣味とは? どんな活動ですか?

入社と同時にアマチュアオーケストラにも入団し、大学の時始めたビオラ (バイオリンより少し大きめの弦楽器) を弾いています。団員 110 名の大きな団体で、国内外で活躍される著名な指揮者が毎回来られ、充実した演奏活動ができ、運営もしつ



かりしています。(妻とここで知り合いました) 年に 2 回の定期演奏会の他に、年 1 回のオペラ、市内幼稚園でのミニコンサート、提携大学での依頼演奏など、様々な活動をしています。過去にはヨーロッパやベトナムへの演奏旅行にも行き、今年は創立 50 周年で東北・宮城県の被災地へ演奏旅行に行く予定です。自主公演とともに石巻市の学生と合同演奏会も開きます。その他に所属団体とは別のオーケストラなどで、個人的に演奏を頼まれることがあります。

プロフィール

氏名 : 高萩 浩史
 所属 : 技術 1 部地域環境グループ
 勤続年数 : 30 年 6 ヶ月
 資格 : RCCM (道路、建設環境他)
 土木学会認定技術者
 居住地 : 名古屋市内 (八尾市出身)
 家族構成 : 夫 (53) / 妻 (33)

どんなときにやりがいを感じますか??

建設コンサルタントの技術者は、日々技術習得の連続ですが、楽器を弾くことも同様で永遠に満足することがありません。楽譜や曲について常に勉強し、練習も大変です。さらに、本番は通常一回しかありませんし、一度出した音はその空間に飛んでいってしまっ、設計のようにやり直しができないというシビアな状況に常に身をおいています。ただそれまでの準備の大切さや仲間との一つの目標に向けての一体感にやりがいを感じますし、聴衆の反応が良いときには仕事とは異なった喜びと充実感があります。普段の会社での仕事と同じような問題も起きることがあり、そういう面でも面白いですね。



愛用の Viola
 LONDON : W. E. Hill & Sons : 1974 年製

仕事との両立で工夫していることは???

最初は両立が不安でしたが、諸先輩からの助言で、両立が前提の生活を最初からすることに決めましたので、当たり前になりました。工夫というわけではありませんが、会社では真面目に働き、上司や部下、発注者など関わる人すべての人と良好なコミュニケーションを取ることが第一だと思います。また、時間を作り出すことを常に考えますので、スケジュール管理が得意になり、仕事の手戻りもなるべく少なくなるよう、先手を打った打合せや業務作業を心がけるようになりました。技術的にも人間的にも信頼されれば、腹を割った話もでき、お互い融通もきくものです。趣味の関係で、回りの皆さんにご迷惑をかけていることも多々あると思いますので、この紙面を借りてお詫び申し上げます m(_)_m

最後に、建コンで働く皆さんに伝えたいことはありますか???

私たちはなぜ生きていて、なぜ仕事をしているかを、よく考えます。当然仕事するためだけに生まれたものではありません。家族や友達と楽しく生活をし、趣味でストレスを発散し、もちろん会社ではエンドユーザーに喜ばれるために仕事をします。今このバランスが問われていると思いますが、これは自分だけで決められるものではなく、また人によっても異なります。最近腰痛予防と体幹を鍛えるためによくバランスボールに乗っていますが、どちらにも転ばない絶妙な位置はまだ見つけられていません。似たように、体調・時期・年齢・仕事内容に応じて働き方を変えていける柔軟さや、説得力のある主張ができるコミュニケーション能力、適度にずるく適度に頑固になることも必要かもしれませんね。回りのみなさんが、「まあいいやろ」と感じる程度に **適度にですよ。**